

令和8年度 第1学年 国語科 年間指導計画・評価計画(年間 140 時間)

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・課題意識をもって話を聞いたり、文章を読んだりして、自分のものの見方や考え方を深める。 ・自分の考えを明確にし、目的や場面に応じて話したり、論理的に文章を書いたりすることができる。
----	---

評価の観点:①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)	
4	2	【詩】 朝のルー ◇	1 詩を音読する。 2 詩を読んで想像したことや、好きな言葉や表現を交流する。 3 詩の特徴を生かして音読する。	①音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア) ③音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。	
	2	【詩】 野原はうたう	1 国語で何を学ぶのかを考える。 2 音読・発表のしかたを理解する。 3「野原はうたう」の二つの詩を音読する。	①音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア) ③音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。	
	4	【物語】 はじまりの風	1 作品を通読する。 2 作品の全体像と場面ごとの心情を捉える。 3 心情の変化を整理する。 4 整理した内容を基に話し合う。 5 学習を振り返る。	②「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) ③場面の展開や心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって着目した表現や心情の変化について話し合おうとしている。	
5	1	言葉1 音声の仕組みや働き	1 導入の課題に取り組み、音声の仕組みや働きについて関心をもつ。 2 母音と子音について理解する。 3 音の高さ・強さについて理解する。	①音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) ③声の出し方による伝わり方の違いを、試行錯誤しながら確認し、それらを生かして音声の働きや仕組みについて理解を深めようとしている。	
	5	【話す・聞く】 話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとに スピーチをする	1 スピーチの材料を集める。 2 話の構成を考え、練習する。 3 スピーチの会を開く。 4 学習を振り返る。	②「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ③話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。	
	1	漢字1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1	1 漢字の組み立てに興味をもつ。 2 漢字を組み立てている部分について理解する。 3 部首について理解する	①学習した漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ) ③学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
6	2	【説明】 ダイコンは大きな根？	1 本文を通読する。 2 文章の中心となる部分を捉える。 3 段落の役割について考える。 4 筆者の説明のしかたについて話し合う。	②「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア) ③文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、今までの学習を生かして筆者の説明の工夫を伝え合おうとしている。	
	3	【説明】 ちょっと立ち止まって ◇	1 本文を通読する。 2 文章の構成に着目し、要旨を捉える。 3 文章の構成に着目し、序論・本論・結論の役割を考える。 4 考えたことを伝え合う。 5 学習を振り返る。	①比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ) ②文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア) ③進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。	
	5	【書く】 情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く	1 情報を集め、整理する。 2 構成を考える。 3 文章にまとめる。 4 交流する。	②目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ③集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明する文章を書こうとしている。	
6	◆	1	言葉2 指示する語句と接続する語句	1 導入の課題に取り組み、指示する語句や接続する語句について関心をもつ。 2 指示する語句について理解する。 3 接続する語句について理解する。 4 学習したことを日常につなぐ。	①指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。((1)エ) ③今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。

7	3	空の詩 三編 【書く】 詩の創作教室	1 三つの詩を音読する。 2 詩について、感じたことを交流する。 3 詩の情景や表現の効果について話し合う。 4 最も印象に残った詩について発表する。 5 学習を振り返る。	②文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ②根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) ③詩の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。
	1	言葉3 さまざまな表現技法	1 導入の例を読み、表現による印象の違いを挙げる。 2 比喩の種類による印象の違いを考える。 3 表現技法によるリズムの違いや効果について考える。	①比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。((1)オ) ③比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法について、学習課題に沿って、積極的に理解を深めようとしている。
	3	【解説】 比喩で広がる言葉の世界	1 本文を通読する。 2 文章の中心となる部分を見つけ、要旨を捉える。 3 比喩について理解を深める。 4 生活への生かし方を考え、伝え合う。 5 学習を振り返る。	①比喩などの表現の技法を理解し使っている。((1)オ) ②文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア) ③進んで比喩について理解し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。
	1	文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう 文法1 言葉の単位	1 導入や教材文を読み、言葉のまとまりについて考える。 2 P242「文法1 言葉の単位」を読む。	①単語の類別について理解している。((1)エ) ③今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前提となる言葉の単位について理解しようとしている。
	1	語彙を豊かに 心情を表す言葉	1 学習の目的を理解する。 2 印象に残った出来事について、そのときの気持ちをひと言で表す。 3 気持ちを表す言葉を集める。 4 気持ちにぴったりの言葉を選ぶ。 5 学習を振り返る。	①事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) ③今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとしている。
	5	【書く】 情報収集の達人になろう コラム 著作権について知ろう	1 調べるテーマを決める。 2 図書館やウェブサイトで情報を集める。 3 情報を読み取る。 4 行動宣言をまとめる。 5 著作権について知る。 6 学習を振り返る。	①比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) ②「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ③引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、今までの学習を生かして収集した情報を基に考えたことを書こうとしている。
	2	読書を楽しむ 本の中の中学生	1 教材文を通読し、さまざまな読書活動を知る。 2「ポップ作り」、「読書会」、「読書記録」の中から、夏休みに行く活動を選ぶ。 3ポップ、読書会のメモや記録、読書記録を提出する。	②文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) ③進んで文章を読み、理解したことに基づき、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
	4	【物語】 大人になれなかった弟たちに……	1 作品を通読する。 2 描写に着目して登場人物の心情を捉える。 3 題名のもつ意味について考える。 4 表記に込められた、作者の意図を考える。 5 思いを伝える朗読会をする。 6 学習を振り返る。	②場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) ③登場人物の心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習したことを生かして朗読しようとしている。
	5	【小説】 星の花が降るころに	1 作品を通読する。 2「私」を中心に作品の内容を押さえる。 3 場面や描写を結び付けて内容を解釈する。 4 印象に残った場面や描写を語り合う。 5 学習を振り返る。	②場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。(C(1)ウ) ③進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。
9 ◆	4	【書く】 項目を立てて書こう 案内文を書く ◇	1 情報を整理し、構成を考える。 2 案内文を書く。 3 学習を振り返る。	①比較や分類、関係づけなど情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ) ②目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、

			集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 (B(1)ア) ③必要な情報を積極的に集めて整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。
1	【推考】 読み手の立場に立つ	1 読み手の立場に立って、案内文を推敲する。 2 書き換えた案内文について、内容が正確に、わかりやすく書き表されているか、友達と話し合う。 3 学習を振り返る。	②読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ) ③粘り強く文章を推敲し、今までの学習を生かして案内文を書き改めようとしている。
1	言葉4 方言と共通語	1 導入の課題に取り組み、地域による言葉の違いについて関心をもつ。 2 教材文を読み、方言と共通語の違いを理解する。 3 P120「消滅危機言語」を読み、日本における消滅危機言語について知る。	①共通語と方言の果たす役割について理解している。 ((3)ウ) ③今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。
1	【話す・聞く】 聞き上手になろう 質問で話を引き出す	1 聞き方や質問のしかたを学ぶ。 2 二人一組で対話の練習をする。 3 学習を振り返る。	②必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) ③進んで質問しながら話の内容を捉え、学習したことを生かして話を引き出そうとしている。
1	漢字2 漢字の音訓 漢字に親しもう2	1 導入部分を読み、漢字の読みには「音」と「訓」があることを理解する。 2「音」と「訓」の歴史や性質を理解する。 3 漢和辞典を利用して、練習問題に取り組む。	②学習した漢字を文や文章の中で使っている。((1)イ) ③学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
5	【記録】 「言葉をもつ鳥、シジュウカラ」	1 本文を通読する。 2 文章の構成と内容を捉える。 3 文章の構成や展開の効果を、根拠を明確にして考える。 4 文章を読んで、考えたことを話し合う。 5 学習を振り返る。	①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ②文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ③文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。
1	思考のレッスン1 意見と根拠	1 P138 上段の文章を読み、意見の根拠を明確に示すことの大切さを理解する。 2 適切な根拠について考える。 3 意見と根拠の結び付きを考える。 4 学習を振り返る。	①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ③根拠の客観性や理由づけに無理がないかを積極的に検討し、学習課題に沿って、意見と根拠の関係について理解を深めようとしている。
5	【書く】 根拠を明確にして書こう 資料を引用して報告する	1 課題を決め、調べる。 2 構成を考える 3 レポートを書く。 4 レポートを読み合い、交流する。 5 学習を振り返る。	②根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ③根拠を明確に示すことを粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。
1	漢字に親しもう3	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	②学習した漢字を文や文章の中で使っている。((1)イ) ③学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
2	文法への扉2 言葉の関係を考えよう 文法2 文の組み立て	1 P147 の導入や教材文を読み、言葉の関係について考える。 2 P246「文法2 文の組み立て」を読み、「文節どうしの関係」「連文節」「文の成分」「文の組み立て」を理解する。	①単語の類別について理解している。((1)エ) ③今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。
2	【詩】 聴きひたる 大阿蘇	1 朗読音声を聴き、言葉の響きやリズムを味わう。 2 詩の朗読を聞いて感じたことや考えたことを交流する。	①事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) ③進んで言葉の響きやリズムを味わい、語感を磨きながら、今までの学習を生かして詩を味わおうとしている。
1	【古典】 古典の世界 音読を楽しむ いろは歌	1 P152「古典の世界」を読み、3年間の古典学習について見通しをもつ。 2 P154「いろは歌」を音読する。	①古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。((3)イ) ③古文を積極的に、繰り返し音読し、3年間の学習の見

11			通しをもって、古典の世界に親しもうとしている。	
	4	【古典】 蓬萊の玉の枝 ——「竹取物語」から	1 古典の文章を音読し、現代の文章との違いを確かめる。 2 現代語訳や P169「古典の言葉」を参考に、現代の文章との違いを確かめる。 3 作品の内容を読み取り、古典の世界を想像する。 4 学習を振り返る。	①音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) ②文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(C(1)オ) ③進んで古文を音読し、今までの学習を生かして、描かれている古典の世界を想像しようとしている。
	3	【書く】 今に生きる言葉 故事成語を使って体験文を書こう	1 漢文を、リズムを味わいながら音読する。 2 本文を読み、故事成語について理解する。 3 自分の生活と結び付けて考える。 4 学習を振り返る。	②書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えていく。(B(1)イ) ③積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。
	4	【意見】 「不便」の価値を見つめ直す	1 本文を通読し、内容を捉える。 2 本文を要約し、筆者の主張について検討する。 3 筆者の主張に対する自分の意見を書く。 4 学習を振り返る。	②目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(C(1)ウ) ③必要な情報に着目して、粘り強く要約し、試行錯誤しながら自分の考えを文章にまとめようとしている。
	1	思考のレッスン2 原因と結果	1 P186 の例題や問題 1 から、原因と結果を抜き出し、どのようにつながっているかを整理する。 2 P187 の例題や問題 2 から、原因と結果のつながりに無理がある例を確かめ、パターン別に整理する。 3 学習を振り返る。	①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ③今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。
	4	漢字に親しもう4	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	②学習した漢字を文や文章の中で使っている。((1)イ) ③学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	4	【話す・聞く】 話し合い 進め方について考えよう	1 二次元コードの動画を視聴し、「やってみよう」①②に取り組む。 2 P190「よりよい話し合いにするために」を読み、話し合うときに効果的な工夫について理解する。 3 学習を振り返る。	②話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ) ③進んで話題や展開を捉え、学習課題に沿って、話し合いをよりよく進めるために気をつけることについて、考えをまとめようとしている。
	1	研究の現場によろこそ	1「四百年のスローライフ」「はやぶさ2 最強ミッションの真実」を通読する。 2 感想を伝え合う。 3 P202「本の世界を広げよう」を参考に、今後読みたい本を考える。	②文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(C(1)オ) ③読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
12	7	【小説】 少年の日の思い出	1 作品を通読する。 2 作品の展開を捉える。 3 表現に着目して、「僕」の心情の変化をまとめる。 4 別の人物の視点から文章を書き換える。 5 学習を振り返る。	②文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えていく。(C(1)エ) ③文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。
	1	文法への扉3 単語の性質を見つけよう 文法3 単語の分類	1 P223 の例題に取り組み、単語の性質について考える。 2 P251「文法3 単語の分類」を読み、「自立語・付属語」「活用の有無」、「品詞」、「体言と用言」について理解する。	①単語の類別について理解している。((1)エ) ③今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。
	4	【随筆】 二十歳になった日	1 作品を通読する。 2 随筆の内容を捉える。 3 構成や表現の効果について考える。 4 自分が考える表現の効果について語り合う。 5 学習を振り返る。	②文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えていく。(C(1)エ) ③進んで心情を表す表現とその効果について考え、学習したことを生かして筆者のものの見方を捉え、随筆を読み味わおうとしている。

1	5	【書く】 構成や描写を工夫して書く 体験を基に随筆を書く	1 随筆の題材を選ぶ。 2 材料を書き出し、整理する。 3 構成を考える。 4 随筆を書く。 5 随筆を読み合う。 6 学習を振り返る。	②根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ③粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
	1	漢字3 漢字の成り立ち	1 漢字の成り立ちについて理解する。 2 漢和辞典を利用して練習問題を解き、漢字の成り立ちを調べ、分類する。	①単語の類別について理解している。((1)エ) ③今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。
2 ◆	3	【詩】 ぼくが ここに	1 詩を読み、印象に残った表現を発表する。 2 表現の意味や、表現技法について考える。 3 作者の思いについて語り合う。 4 学習を振り返る。	①比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。((1)オ) ②文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(C(1)オ) ③積極的に詩を読み味わって考えを深め、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。
3	20	書写 ◇	硬筆・・・日本生活のいろいろな場面に 応用できる美しい文字の書き方を学ぶ 毛筆・・・基本点画をもう一度練習し ながら、さらに上級の課題に取り組ん でいく。	丁寧で正しい文字を書くという目標を達成している。

◆定期考査 ◇道徳

評価計画(各観点の評価方法)

観 点	①知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしていく。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使おうとしている。
評 価 の 方 法	・漢字テストなどの小テスト ・定期考査 ・音読 ・書写	・授業時に行う発表 ・聞き取りテスト ・定期考査	・授業態度(発言／態度／忘れ物) ・提出物(ワークシート、振り返りカード、作文等) ・定期考査

学習のアドバイス

<p>(1)授業への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に発言をするなど、進んで授業に参加しましょう。 分からないところは自ら先生に質問したり、調べたりしましょう。 板書されたものをノートに書くだけでなく、先生の話や仲間の意見から出た重要なことはメモをとりましょう。 <p>(2)提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的に学習を進め、期日を守って提出してください。 <p>(3)単元ごとのふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の課題を把握して、それを改善しようとするのが大事です。そのために単元の振り返りカードを活用しましょう。 評価基準は、年度当初の授業で出した通りです。 <p>(4)定期考査に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> 一番大切なのはノートの見直しです。どのようなことを、どのようなプロセスで考えたのか復習しましょう。 答えを暗記するのではなく、なぜその問題が出されるのか、問われていることは何かを考えてみましょう。

令和8年度 第1学年 社会科(地理的分野)年間指導計画 (年間 70 時間)

目 標	社会的事象を通して、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする能力を育てる。 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる社会の形成者に必要な技能を身に付けるようにする。
------------	---

評価の観点：①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度

月	時数	単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4 5	7	世界の姿	・世界の地域構成を主体的に捉え、意欲的に追究させる。 ・世界の地域構成を地図・地球儀・諸資料などを活用して捉えさせる。 ・世界の地域構成を理解させる。	①大陸や海洋の位置関係をはじめとする世界の地域構成を理解し、基礎的な知識や資料活用の技能を身に付けている。 (プリント、定期考査、ノート、ワーク) ②統計資料を読み取り、自分の言葉で表現している。 (プリント、定期考査、ノート、ワーク) ③進んで学習に取り組んでいる。 (授業態度、発言、ノート、ワーク)
5 ◆	5	日本の姿	・日本の地域構成を地図・地球儀・諸資料などを活用して捉えさせる。 ・日本の地域構成を理解させる。	①日本の位置の示し方や、時差など、基礎的な知識や資料活用の技能を身に付けている。 (プリント、定期考査、ノート、ワーク) ②③領域のしくみや特色を理解し、日本の問題を主体的に考えている。 (プリント、定期考査、ノート、ワーク)
6	8	人々の生活と環境 ☆◇	・世界各地の人々の生活の様子を、衣食住や宗教など、自然条件や社会条件と関連させて考察させる。 ・雨温図などのグラフや資料を適切に読み取り、地域の特色を捉えさせる。	①世界の気候の特色を理解し、その知識を身に付けている。 (プリント、定期考査、ノート、ワーク) ②景観写真や雨温図などの諸資料を読み取り、資料活用を身に付けている。 (プリント、定期考査、ノート、ワーク) ③進んで学習に取り組んでいる。 (授業態度、発言、ワーク)
6 7	8	世界の諸地域 (ア)アジア州	・アジア州の自然環境、産業、生活、歴史的背景などに関心をもたせる。 ・アジア州の各主題に関して、諸資料を的確に読み取り、多面的、多角的に追及し、考察させる。	①②アジア州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる下記の地理的事象を中心に引き上げ、地域的特色である人口問題について考察している。 (授業態度、発言、プリント、ノート、定期考査、作品) ③進んで学習に取り組んでいる。 (授業態度、発言、ワーク、確認テスト)
9 ◆	8	世界の諸地域 (イ)ヨーロッパ州	・ヨーロッパ州の自然環境、産業、生活、歴史的背景などに関心をもたせる。 ・ヨーロッパ州の各主題に関して、諸資料を的確に読み取り、多面的、多角的に追及し、考察させる。	①②ヨーロッパ州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる下記の地理的事象を中心に引き上げ、地域的特色であるEUについて考察している。 (授業態度、発言、プリント、ノート) ③進んで学習に取り組んでいる。 (授業態度、発言、ワーク)

10	6	世界の諸地域 (ウ)アフリカ州	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ州の自然環境、産業、生活、歴史的背景などに関心をもたせる。 ・アフリカ州の各主題に関して、諸資料を的確に読み取り、多面的、多角的に追及し、考察させる。 	<p>①②アフリカ州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる下記の地理的事象を中心に上げ、地域的特色である貧困について考察している。 (授業態度、発言、プリント、ノート、定期考査、ワーク)</p> <p>③進んで学習に取り組んでいる。 (授業態度、発言、ワーク)</p>
11	8	世界の諸地域 ◆ (エ)北アメリカ州	<ul style="list-style-type: none"> ・北アメリカ州の自然環境、産業、生活、歴史的背景などに関心をもたせる。 ・北アメリカ州の各主題に関して、諸資料を的確に読み取り、多面的、多角的に追及し、考察させる。 	<p>①②北アメリカ州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる下記の地理的事象を中心に上げ、地域的特色である農業について考察している。 (授業態度、発言、プリント、ノート、ワーク)</p> <p>③進んで学習に取り組んでいる。 (授業態度、発言、ワーク)</p>
12	6	世界の諸地域 (オ)南アメリカ州	<ul style="list-style-type: none"> ・南アメリカ州の自然環境、産業、生活、歴史的背景などに関心をもたせる。 ・南アメリカ州の各主題に関して、諸資料を的確に読み取り、多面的、多角的に追及し、考察させる。 	<p>①②南アメリカ州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる下記の地理的事象を中心に上げ、地域的特色である人熱帯林伐採について考察している。 (授業態度、発言、プリント、ノート、定期考査、ワーク)</p> <p>③進んで学習に取り組んでいる。 (授業態度、発言、ワーク)</p>
1	6	世界の諸地域 ◆ (カ)オセアニア州	<ul style="list-style-type: none"> ・オセアニア州の自然環境、産業、生活、歴史的背景などに関心をもたせる。 ・オセアニア州の各主題に関して、諸資料を的確に読み取り、多面的、多角的に追及し、考察させる。 	<p>①②オセアニア州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる下記の地理的事象を中心に上げ、地域的特色である移民について考察している。 (授業態度、発言、プリント、ノート、定期考査、ワーク)</p> <p>③進んで学習に取り組んでいる。 (授業態度、発言、ワーク)</p>
2	8	地域調査のしかた ◇	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の様々な地域の特色を捉える適切な主題を設けて追及し、日本の地理的認識を深めるとともに、日本の様々な地域の調査を行う際の視点や方法を身に付けさせる。 	<p>①②収集した情報を適切に分析し、分かりやすく説明している。(プリント、発言、ワーク)</p> <p>③進んで学習に取り組んでいる。 (授業態度、発言、ワーク)</p>

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

令和8年度 第1学年 社会科(歴史的分野)年間指導計画 (年間 35 時間)

目 標	社会的事象を通して、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする能力を育てる。 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる社会の形成者に必要な技能を身に付けるようにする。
------------	---

評価の観点：①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度

月	時数	単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4	2	歴史をとらえる見方・考え方	・歴史のレポート作成の方法などを通して歴史の学び方を身に付けさせる。 ・時代区分の方法や、年代の見方・表し方について理解させる。	①時代区分、年代の分け方について理解し、その知識を身に付けている。(定期考査、ノート、ワーク) ②我が国の歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりし、その過程や結果を適切に表現している。(プリント、授業態度、ワーク) ③進んで学習に取り組んでいる。(授業態度、発言、ワーク)
5 ◆ 6 7 8 9 ◆	13	古代までの日本	・国家の形成と貴族の政治の展開のあらましや文化などに関心をもたせる。 ・歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察させる。 ・様々な資料を収集し、適切に活用するとともに、追求した過程や結果を発表し、説明させる。 ・我が国の国家形成に深く関わる東アジアの歴史を理解させる。☆	①②世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における農耕の広まり、大和朝廷による国内統一と東アジアとの関わり、律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治、古代文化等に関する様々な資料を適切に読み取り、それぞれの時代の特色をわかりやすく説明している。また、原始・古代の日本と世界の歴史について理解し、その知識を身に付けている。(プリント、ノート、定期考査、ワーク) ③進んで学習に取り組んでいる。(授業態度、発言、ワーク)
10 11 ◆ 12 1	13	中世の日本 ☆	・武家政権の成立とその後の政治、社会、文化への関心を高めさせる。 ・社会的な変動、諸産業の発達を取り上げ、多面的・多角的に考察させる。 ・様々な資料を収集し、適切に活用するとともに、追求し考察した結果をまとめ、説明させる。	①②武家政権の成立、南北朝の争乱と室町幕府、東アジアの国際関係、応仁の乱後の社会的な変動や武家政治の特色等に関する様々な資料を適切に読み取り、それぞれの時代の特色をわかりやすく説明している。また、中世の日本と世界の歴史について理解し、その知識を身に付けている。(プリント、ノート、定期考査、ワーク、作品) ③進んで学習に取り組んでいる。(授業態度、発言、ワーク)
2 ◆ 3	7	近世の日本 ☆	・14～16 世紀に起こった歴史的事象の特色と、ヨーロッパ人の来航による日本への影響などについて、多角的に考察させる。 ・様々な資料を収集し、適切に活用するとともに、追求し考察した結果をまとめ、説明させる。	①②ヨーロッパ人が日本に来航した背景や目的、織田・豊臣による全国統一事業等に関する様々な資料を適切に読み取り、それぞれの時代の特色をわかりやすく説明している。また、近世の日本と世界の歴史について理解し、その知識を身に付けている。(プリント、ノート、定期考査、ワーク) ③進んで学習に取り組んでいる。(授業態度、発言、ワーク)

評価計画(各観点の評価方法)

観点	社会的事象についての知識 資料活用の技能	社会的な思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	世界や日本の諸地域・歴史、現代の社会的事象についての知識を身に付けているとともに、様々な情報を効果的に調べ、まとめている。	地理や歴史、現代の社会生活に関わる事象と関連付けて、地域の特色や年代、現代社会の特色を多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりしている。	地理や歴史、現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現や現代社会に見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
評 価 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント(感想など) ・作品(新聞) ・定期考査 ・確認テスト ・ワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント(感想など) ・レポート ・定期考査 ・確認テスト ・ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む姿勢(発言など) ・班活動に取り組む姿勢(発表など) ・レポート ・プリント(感想など) ・ノート ・ワーク

学習のアドバイス

(1)暗記に留まらず、「自分事」として考えながら学習する。	社会の学習は、社会的事象(用語など)を覚えるだけではありません。話をただ聞くだけでなく資料や地図などをしっかりと確認しながら、積極的に話を聞くことが大切です。さらに、自分の事として考えることで新たな疑問が浮かび、深い学びに繋がります。疑問はどんどん質問して、自ら授業に取り組みましょう。
(2)失敗を恐れずに挑戦する。	授業は失敗をしたり、間違える場所でもあります。大切なことは、失敗や間違いに気づいた後の行動です。次に同じ間違いを繰り返さないように、何度も書いて覚える等の自分に合った工夫をしてみましょう。
(2)提出物は必ず出す。	プリントやワークは提出期日を守る習慣をつけましょう。そのために、ワークや授業の振り返りは計画的に取り組みましょう。
(3)ノートにメモをとる。	授業では先生が話したことや、自分で重要だと感じたことをノートに取っておくと定期考査前に役立つこともあります。先生の話だけを聞き流すだけではなくノートに記録を残しましょう。

令和8年度 第1学年 数学科 年間指導計画・評価計画(年間140時間)

目標	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする能力を身につける。 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づいて、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養う。
----	---

評価の観点:①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度

月	時間	単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
数量				
4	5	整数の性質	<ul style="list-style-type: none"> 自然数、素数、素因数分解の意味とその活用方法について理解する。 自然数をいくつかの数の積で表すことによって整数の性質を理解し、表現することができる。 <p>整数の性質</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 自然数、素数、素因数の意味を理解している。(授業での取り組み、提出物、テスト) ② 自然数をいくつかの数の積で表すことによって整数の性質を見いだし表現することができる。(授業での取り組み、提出物、テスト) ③ 自然数をいくつかの数の積で表すことによって整数の性質を見いだそうとしている。(授業での取り組み、提出物、テスト)
5 6 ◆	26	正負の数	<ul style="list-style-type: none"> ＋、－の符号や正の数、負の数の必要性和意味を理解する。 正負の数の加減乗除の計算ができる。 正の数と負の数の四則計算の方法を考察し、表現できる。 <p>正の数と負の数 加法と減法 乗法と除法 いろいろな計算</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 正負の数の四則計算をすることができる。(授業での取り組み、提出物、テスト) ② 算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。(授業での取り組み、提出物、テスト) ③ 正負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。(授業での取り組み、授業での取り組み、提出物、テスト)
7 9 ◆	19	文字と式	<ul style="list-style-type: none"> 文字を用いることの必要性和意味を理解する。 文字式における乗法と除法の表し方にしたがって、式を表すことができる。 一次式の加法や減法、数の乗法の計算ができる。 具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算方法を考察し、表現することができる。 <p>文字と式 文字式の計算 文字式の利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表すことができることを理解している。(授業での取り組み、提出物、テスト) ② 文字を用いた式を活用して、具体的な事象を考察し表現することができる。(授業での取り組み、提出物、テスト) ③ 文字を用いることの必要性和意味を考えようとしている。(授業での取り組み、提出物、テスト)
10 11 ◆	15	方程式	<ul style="list-style-type: none"> 方程式とその解の意味を理解する。 具体的な問題を、方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する。 比例式の性質を理解し、具体的な問題を解決したりすることができる。 <p>1次方程式 1次方程式の利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 等式の性質の意味を理解し、等式の性質を用いて方程式を解くことができる。(授業での取り組み、提出物、テスト) ② 具体的な場面の問題において、1次方程式を活用し、問題を解決することができる。(授業での取り組み、提出物、テスト) ③ 方程式の必要性和意味を考えようとしている。(授業での取り組み、提出物、テスト)
12 1	23	比例と反比例	<ul style="list-style-type: none"> 関数の意味及び変域の意味と表し方を理解する。また、2つの数量の間に関数の関係があるかどうかを判断することができる。 比例、反比例を表、式、グラフに表すことができる。 座標の意味や点の位置の表し方を理解する。 比例・反比例のグラフの特徴を理解する。 <p>比例 反比例 比例と反比例の利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。(授業での取り組み、提出物、テスト) ② 比例、反比例として捉えられる2つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。(授業での取り組み、提出物、テスト) ③ 関数関係の意味や比例、反比例について考えようとしている。(授業での取り組み、提出物、テスト)
2 ◆	12	データの活用と分析★	<ul style="list-style-type: none"> データを度数分布表やヒストグラムに表し、分布の特徴を読み取り、説明することができる。 相対度数の必要性和意味を理解する。 不確かな事象の起こりやすさを、その事象の起こる割合や試行の回数に着目して考え、説明することができる。 <p>データの整理とその活用 確率</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解している。(授業での取り組み、提出物、テスト) ② 目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。(授業での取り組み、提出物、テスト) ③ ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討したり、多面的に捉え考えようとしている。(授業での取り組み、提出物、テスト)
3	5	いろいろな問題	総合的な問題に取り組むことができる。	総合的な問題を解くことができる。(ワークシート、小テスト、定期考査)

図形			
4 5 6 ◆ 7 9 ◆	16	平面図形 ・平行移動、回転移動、対称移動の意味とその性質を理解する。 ・2つの合同な図形の関係を移動の見方で捉え、説明することができる。 ・作図における定規とコンパスの役割と使い方を理解し、簡単な作図ができる。 平面図形 作図 円	① 平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。 (授業での取り組み、提出物、テスト) ② 図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用することができる。 (授業での取り組み、提出物、テスト) ③ 平面図形の性質や関係を捉えることの必要性と意味を考えようとしている。 (授業での取り組み、提出物、テスト)
10 11 ◆ 12 1 2 ◆ 3	19	空間図形 ・角柱や円柱、円錐、球などを、平面図形の移動によってできた立体とみることができる。 ・角柱、円柱、角錐、円錐、球の展開図とその特徴を理解する。体積・表面積を求めることができる。 空間図形 立体の体積と表面積	① 空間における直線や平面の位置関係を理解している。 (授業での取り組み、提出物、テスト) ② 空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだすことができる。 (授業での取り組み、提出物、テスト) ③ 空間図形の性質や関係を捉えることの必要性や意味を考えようとしている。 (授業での取り組み、提出物、テスト)

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・整数の性質、正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などの基礎的な概念や原理について理解している。 ・事象を数学的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理する技能を身に付けている。	・数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりしている。 ・図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直感的にとらえ論理的に考察している。 ・数量の変化や対応に着目して関数関係を見出し、その特徴を表、式、グラフなどで考察している。 ・データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりしている。	・数学的活動の楽しさや数学のよさに気づいて粘り強く考えている。 ・数学を生活や学習に生かそうしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようしたり、多面的に捉え考えようとしている。
評 価 の 方 法	・授業での取組 ・提出物(ワーク、プリント、レポート) ・テスト(定期考査、小テスト)	・授業での取組 ・提出物(ワーク、プリント、レポート) ・テスト(定期考査、小テスト)	・授業での取組 ・自己評価表 ・提出物(ワーク、ノート、プリント、レポート) ・テスト(定期考査、小テスト)

学習のアドバイス

(1)授業への取組 積極的に発言したり、問題と向き合ったりと進んで授業に参加する。 分からないところは、自ら友達や先生に質問して解決する。 友達の意見からも学ぶ姿勢をもつ。 既習事項から新たな性質や考え方を見い出そうとする。
(2)提出物 ワークは計画的に取り組み、丁寧に丸付けを行う。途中式や問題のポイントを書くなど、学習に対する姿勢が見える形で提出してください。間違えた場合は答えのみならず、途中式、考え方やポイントを書くようにする。 ノートは見直しやすいように書く。板書だけでなく、先生の説明や気付いたことも書き足す。
(3)単元ごとのふりかえり 自己評価表を活用し、自分の課題を把握して改善しようとする。 数学は次につながっていくので、わからないところは聞いたり、調べたりして解決する。 できなかった問題は相談したり、繰り返し取り組んだりすることで自分の力で解けるようにする。

令和8年度 第1学年 理科 年間指導・評価計画（年間105時間）

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
----	---

○理科

評価の観点:①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

月	時間	単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4 5 6 ◆	6	生物の観察と分類のしかた	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかたについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。 ・生物の観察と分類のしかたに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(実験ノート、小テスト、定期テスト) ②生物の観察と分類のしかたについての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(ワークシート、定期テスト) ③生物の観察と分類のしかたに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(行動観察、振り返りプリント、小テスト)
	10	植物の分類	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、植物のからだの共通点と相違点を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・身近な植物についての観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、植物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。 ・植物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、植物のからだの共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(実験ノート、小テスト、定期テスト) ②植物のからだの共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、植物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(ワークシート、定期テスト) ③植物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(行動観察、振り返りプリント、小テスト)
	10	動物の分類	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、動物のからだの共通点と相違点を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・身近な動物についての観察、実験などを通して、いろいろな動物の共通点や相違点を見いだすとともに、動物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。 ・動物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、動物のからだの共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(実験ノート、小テスト、定期テスト) ②動物のからだの共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな動物の共通点や相違点を見いだすとともに、動物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(ワークシート、定期テスト) ③動物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(行動観察、振り返りプリント、小テスト)
7 ☆				
9 ◆				

10	8	身のまわりの物質とその性質	<p>身のまわりの物質をさまざまな方法で調べる実験を通して、物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解するとともに、実験器具の操作、記録のしかたなどの技能を身につける。</p> <p>・身のまわりの物質について、問題を見いだし見直しをもって観察、実験などを行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する。</p> <p>・物質のすがたに関する事象・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。</p>	<p>①身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、身のまわりの物質とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(実験ノート、小テスト、定期テスト)</p> <p>②物質のすがたについて、問題を見いだし見直しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(ワークシート、定期テスト)</p> <p>③物質のすがたに関する事象・現象に進んでかかわり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(行動観察、振り返りプリント、小テスト)</p>
11	5	気体の性質	<p>・気体を発生させてその性質を調べる実験を通して、気体の種類による特性を理解するとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。</p> <p>・身のまわりの物質について、問題を見いだし見直しをもって観察、実験などを行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する。</p> <p>・物質のすがたに関する事象・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。</p>	<p>①身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、気体の発生とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(実験ノート、小テスト、定期テスト)</p> <p>②物質のすがたについて、問題を見いだし見直しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(ワークシート、定期テスト)</p> <p>③物質のすがたに関する事象・現象に進んでかかわり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(行動観察、振り返りプリント、小テスト)</p>
12	7	水溶液の性質	<p>・水溶液から溶質をとり出す実験を通して、その結果を溶解度と関連づけて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</p> <p>・身のまわりの物質について、問題を見いだし見直しをもって観察、実験などを行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する。</p> <p>・水溶液に関する事象・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。</p>	<p>①身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、水溶液についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(実験ノート、小テスト、定期テスト)</p> <p>②水溶液について、問題を見いだし見直しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(ワークシート、定期テスト)</p> <p>③水溶液に関する事象・現象に進んでかかわり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(行動観察、振り返りプリント、小テスト)</p>
1		物質の姿と状態変化	<p>・物質の状態変化についての観察、実験を通して、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだして理解する。また、物質は融点と沸点をさかいに状態が変化することを知るとともに、混合物を加熱する実験を通して、沸点のちがいによって物質の分離ができることを見いだして理解する。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</p> <p>・身のまわりの物質について、問題を見いだし見直しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現する。</p> <p>・状態変化に関する事象・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。</p>	<p>①身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、状態変化と熱、物質の融点と沸点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(実験ノート、小テスト、定期テスト)</p> <p>②状態変化について、問題を見いだし見直しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(ワークシート、定期テスト)</p> <p>③状態変化に関する事象・現象に進んでかかわり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(行動観察、振り返りプリント、小テスト)</p>

2 ◆	6	光の世界	<p>・光についての観察、実験を通して、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性や、凸レンズのはたらきについての実験から、物質の位置と像の位置および像の大きさの関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</p> <p>・光について問題点を見だし、見直しをもって観察、実験などを行い、光の性質の規則性や関係性を見いだして表現する。</p> <p>・光に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。</p>	<p>①光に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、光の反射や屈折、凸レンズのはたらきなどについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(授業ノート、ワークシート、発表、小テスト、定期テスト)</p> <p>②光について問題を見だし、見直しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズのはたらきから規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(授業ノート、ワークシート、小テスト、定期テスト)</p> <p>③光に関する事物・現象に進んでかかわり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(授業ノート、ワークシート、行動観察、振り返りシート)</p>	
	3	9	音の世界	<p>・音についての観察、実験を通して、音は物体が振動することによって生じ空気中などを伝わることや、音の高さや大きさは発音体の振動に関係することを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</p> <p>・音について問題を見だし、見直しをもって観察、実験などを行い、音の性質の規則性や関係性を見いだして表現する。</p> <p>・音に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。</p>	<p>①音に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、音の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(授業ノート、ワークシート、小テスト、定期テスト)</p> <p>②音について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、音の性質の関係性や規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(授業ノート、ワークシート、発表、小テスト、定期テスト)</p> <p>③音に関する事物・現象に進んでかかわり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(授業ノート、ワークシート、行動観察、振り返りシート)</p>
		11	力の世界	<p>・物体に力をはたらかせる観察、実験を行い、物体に力がはたらくとその物体が変形したり動き始めたり、運動のようすが変わったりすることや、力は大きさと向きによって表されること、物体にはたらく 2 力のつり合う条件を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。(知識・技能)</p> <p>・力について問題を見だし、見直しをもって観察、実験などを行い、力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現する。(思考・判断・表現)</p> <p>・力のはたらきに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>①力のはたらきに関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、力のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(授業ノート、ワークシート、小テスト、定期テスト)</p> <p>②力のはたらきについて、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(授業ノート、ワークシート、発表、小テスト、定期テスト)</p> <p>③力のはたらきに関する事物・現象に進んでかかわり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(授業ノート、ワークシート、行動観察、振り返りシート)</p>
	9	火をふく大地	<p>・大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、火山活動と火成岩、自然のめぐみと火山災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。</p> <p>・火山、自然のめぐみと火山災害について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性、自然のめぐみや火山災害の火山活動のしくみとの関係性などを見いだして表現する。</p> <p>・火山、自然のめぐみと火山災害に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。</p>	<p>①大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、火山活動と火成岩、自然のめぐみと火山災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(実験ノート、小テスト、定期テスト)</p> <p>②火山、自然のめぐみと火山災害について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性、自然のめぐみや火山災害の火山活動のしくみとの関係性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(ワークシート、定期テスト)</p> <p>③火山、自然のめぐみと火山災害に関する事物・現象に進んでかかわり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(行動観察、振り返りプリント、小テスト)</p>	

<p>7</p>	<p>動き続ける大地</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地震の伝わり方と地球内部のはたらき、地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。 ・地震、地震災害について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地震の原因と地球内部のはたらきとの関係性、地震災害と地震発生のおきみとの関係性などを見だして表現する。 ・地震、地震災害に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。 	<p>①大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地層の重なりと過去のようすについて基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(授業ノート、ワークシート、小テスト、定期テスト)</p>
<p>9</p>	<p>地層から読みとる 大地の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地層の重なりと過去のようすについて基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。 ・地層の重なりと過去のようすについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見だして表現する。 ・地層の重なりと過去のようすに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。 	<p>②地層の重なりと過去のようすについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見だして表現しているなど、科学的に探究している。(授業ノート、ワークシート、発表、小テスト、定期テスト)</p> <p>③地層の重なりと過去のようすに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(授業ノート、ワークシート、行動観察、振り返りシート)</p>

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験など基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評 価 の 方 法	提出物(授業ノート、問題集、プリント等) ・小テスト、定期テスト	・提出物(授業ノート、実験プリント等) ・発表(グループディスカッション等) ・小テスト、定期テスト	・授業態度(自己評価を含む) ・提出物(問題集、実験プリント等) ・小テスト、定期テスト

学習のアドバイス

(1)授業への取組

○普通の授業

- ・自然事象に興味をもって授業に参加しましょう。
- ・黒板に書かれたことはしっかりとノートに記入しましょう。
写すだけでなく、先生が話した内容などを工夫補足しながらわかりやすくまとめましょう。
- ・よそ見をしたり、私語は慎みましょう。
- ・友だちの発表を聞きもらさないようにし、自分の考えとの違いや共通点を見つけよう。
- ・発表するときや、班で活動・相談するときは自分の考えを積極的に相手にわかりやすく伝えるようにしましょう。
- ・先生の指示をよく聞き、安全に実験・観察できるようにしましょう。

○実験・観察

- ・危険をとまぬことが多いので、自分勝手な行動や言葉遣いはしない、
- ・説明をしっかりと聞き、ペアや班全員で取り組み、見ているだけの人がいないようにしましょう。
- ・積極的に参加し、安全には十分注意しましょう。
- ・手順どおりに作業し、結果を出すだけでなく、結果からしっかりと考察しましょう。
- ・方法や結果、自分の考察をまとめておきましょう。

(2)提出物

- ・期限をしっかりと守り提出しましょう。また、指示された内容がすべて書いてあるか、適切な内容がしっかりと確認しましょう。指示がなかったものでも、必要に応じて追加したり、補足資料として一緒に提出したりしましょう。

(3)単元ごとのふりかえり

- ・ノート、教科書や資料集を用いて、語句を確認しましょう。また、その語句を説明できるようにしておきましょう。
- ・ワークやプリントの問題を繰り返し解きましょう。特に一度間違った問題は重点的に解くとよいでしょう。
- ・実験や観察の手順や器具の使い方を確認しましょう。
- ・実験や観察の結果から導き出せる法則や定理を文章で説明できるようにしておきましょう。
- ・学習した日のうちに問題を解き、わからないところや間違ったところをしっかりと確認しましょう。
- ・復習をしていてわからないことや疑問に思うことは、先生に聞き、解決しておきましょう。
- ・実験や観察の結果をまとめましょう。
- ・授業のノートや教科書をもとに、新しく学習した用語をきちんと理解しましょう。
- ・学習した内容と身近な科学事象との関わりを調べ、ノートにまとめましょう。
- ・計算問題や作図は繰り返し解きましょう。
- ・一度解いた問題も繰り返し解き、知識を定着させましょう。
(間違ったところは、何が間違っていたのかをきちんと確認しておきましょう。)
- ・不思議に思う身近な科学事象についてどんどん調べていきましょう。
- ・学習したことが身のまわりのどんなところでおこっているのか、利用されているのか調べてみましょう。

令和8年度 第1学年 英語科 年間指導計画・評価計画(年間 140 時間)

目標	基礎的な英語を使って、相手に自分のことを伝えたり、簡単な状況を説明したりすることができる。
----	---

評価の観点:①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4	8	Let's Be Friends!	小学校の既習内容の復習 気持ちや状態を表す語、国の名前、色、数、日付や月を表す語、アルファベット、英語の音とつづり	①アルファベットを正しく発音し、書くことができる。 基本的な単語を聞き取ることができる。 ②適切な表現を使って友達とやり取りをしている。 ③コミュニケーション活動に積極的に取り組む。
	1	Sounds and Letters	発音とつづり	①文字を正しく読むことができる。
5	13	Unit1 Here We Go!	be 動詞 平叙文・否定文 I'm ~. 一般動詞平叙文・否定文 I (don't) like ~. 助動詞 can 平叙文・否定文 I can / can't ~	①I'm~, I like ~, I can~を使って、自分の出身地・年齢・好きなもの・できることを伝え合うことができる。 ②自己紹介カードに名前や好きなもの・できることや、その他の情報を適切に書いている。 ③自分についての情報を積極的に書こうとしている。
	12	Unit 2 School Activities	be 動詞の疑問文 Are you ~? 一般動詞の疑問文 Do you ~? 助動詞 can の疑問文 Can you ~?	①Are you~? Do you~? Can you~?を使って、好きなことやできることをたずね合うことができる。 ②自分がしている活動のメンバーを見つけるために、友達が興味のあることなどについて、その場でたずねている。 ③自分がしている活動のメンバーを見つけるために、友達が興味のあることなどについて、その場でたずねようとしている。
6	2	World Tour1 世界の中学生	How many~?の疑問文、世界の中学生についての情報の読み取り	①学校生活について紹介する動画の内容を聞き取る技術を身につけている。 ②世界の挨拶や、中学生の生活の様子を知る。 ③世界の中学生について知るために、その人の学校生活などを紹介する動画を見て、おおまかな内容を捉えようとしている。
◆	12	Unit 3 Enjoy the Summer	What do you ~? の構文、動詞の-ing 形, want to ~	①What do you ~? の構文、動詞の-ing 形, want to ~ の表現について理解している。 ②他の人の夏休みの予定を聞き取ることができる。 ③英語で積極的に質問しようとしている。
7	1	Let's Read 1 What Am I?	短い説明文を読んで、内容を理解する。	①説明文から情報を読み取ることができる。 ②クイズの答えを知るために、解答の手がかりが書かれた文章から、必要な情報を読み取っている。 ③What am I?の答えを知るために、説明文から"I"についての情報を読み取ろうとしている。
	2	Active Grammar 1 be 動詞/一般動詞/can	Unit1~3の文法 be 動詞/一般動詞/can の復習	①am, are や一般動詞や can を使って自分と相手のことを伝える言い方を正確に理解している。
	3	You Can Do It! 1 自己紹介で共通点・相違点を見つけよう	英語で自己紹介する。友達の自己紹介を聞く。	①自分の出身地、誕生日、趣味、好きなことを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。 ②伝えたいことを整理して適切に自己紹介をしている。 ③積極的に友達に自己紹介しようとしている。他の人の発表を聞き取ろうとしている。
◆	13	Unit 4 Our New Friend◇	3 人称単数を主語とする be 動詞の文や Who's ~? の構文	①3 人称単数を主語とする be 動詞の文や Who's ~? の構文について正確に理解している。 ②話題にあがっている人物を特定するために、登場人物の説明から、必要な情報を聞き取っている。 ③会話から人物の基本的な情報を聞き取り、メモを取ろうとしている。
10	2	Daily Life 1 落とし物	whose で始まる疑問文を使った会話	①whose で始まる疑問文について理解している。 ②落とし物の持ち主を探すために、誰のものかを尋ねたり、相手からの質問に持ち主を伝えたりしている。 ③コミュニケーション活動に積極的に取り組む。
	1	Active Grammar 2 代名詞	人称代名詞や指示代名詞	①人称代名詞や指示代名詞の使い方を理解している。
11	13	Unit 5 Hi, David!	where や when で始まる疑問文や命令文	①where や when で始まる疑問文や命令文を使って、場所や時間をたずねたり説明したりすることができる。 ②必要な情報を読み取り、適切に理解している。 ③積極的に自分の学校についてたずねたり、答えようとしている。
	◆	1	Daily Life 2 注文	Can I ~?, Which ~ or ~?, How much ~? を使った会話

12	13	Unit 6 Cheer Up, Tina★	3 人称単数を主語とする一般動詞を使った肯定文・疑問文・否定文	①3 人称単数を主語とする一般動詞を使った肯定文・疑問文・否定文について正確に理解している。 ②誰を紹介しているかを知るために、紹介文を読んで内容を適切に理解している。 ③ほかの人物の紹介文を英語で適切に書こうとしている。
	12	1	Daily life 3 バス停	時刻についてのやり取り ①What time～?を用いてやり取りできる。 ②バス停で困っている観光客を助けるために、相手を気遣う言葉をかけたり、バスの行先や時刻についての質問に答えたりするやり取りをしている。 ③コミュニケーション活動に積極的に取り組む。
1	1	Active Grammar 3 is・3 人称単数現在形	Unit4～6の復習 3 人称単数のときの be 動詞と一般動詞の使い方	①主語が 3 人称単数のときの be 動詞と一般動詞の使い方を理解している。
	1	Daily Life 4 道案内	How～? How long～?	①How ～? How long～?を用いてやり取りができる。 ②海外からの観光客に伝わるように、目的地までの道順や所要時間についての質問に答えたり、相手を気遣う言葉をかけたりするやり取りをしている。 ③コミュニケーション活動に積極的に取り組む。
2	1	Active Grammar 4 疑問詞	Unit4～6の復習 疑問詞の使い方	①疑問詞の形・意味・用法を身につけている。
	2	You Can Do It! 2 ゲストの魅力を伝える MC になろう	身近な人のことについて英語で紹介する。	①人物の家族関係、性格、できることなどを、簡単な語句や文を用いて正確に話すことができる。 ②適切な表現を使って紹介している。 ③友達に伝わるように紹介しようとしている。他の人の発表を聞き取ろうとしている。
3	14	Unit 7 The New Year in Japan ★◇	一般動詞の過去形を使った肯定文、疑問文、否定文や be 動詞の過去形	①一般動詞の過去形を使った肯定文、疑問文、否定文や be 動詞の過去形について正確に理解している。 ②冬休みの出来事や感想を書くことができる。 ③はがきから出来事や感想を読み取るとともに、はがきの書き方を理解しようとしている。
	1	Active Grammar 5 動詞の過去形	Unit7 の復習 一般動詞の過去形を使った肯定文、疑問文、否定文や be 動詞の過去形	①一般動詞の過去形の肯定文・疑問文・否定文の形を理解する。
	1	Daily Life 5 イベントの案内	イベントの案内から、必要な情報読み取ることができる	①イベントの案内から、必要な情報を読み取ることができる。 ②友達の質問に答えるために、イベントの案内から、必要な情報を読み取っている。 ③友達の質問に答えるために、イベントの案内から、必要な情報を読み取ろうとしている。
	13	Unit 8 Getting Ready for the Party	現在進行形の肯定文、疑問文や会話文	①現在進行形の肯定文、疑問文を使った会話文を理解することができる。 ②現在進行形を用いて、今していることを正しく表現できる。 ③他の生徒に自分なりに考えながら今の状況を説明しようとしている。
	1	World Tour 2 世界の中学生2	What time do you～? What do you do ～?	①What time do you～?や What do you do～?を用いた会話を聞き取ることができる。
	1	Active Grammar 6 現在進行形	Unit8の復習 現在進行形	①現在進行形について理解することができる。
	2	Let's Read 2 The Lion and the Mouse	イソップ物語「ライオンとネズミ」の物語を読む。	①物語を推測しながら読み続けている。 ②物語のあらすじをつかみ、登場人物の心情を考えることができる。 ③場面の変化や心情などを捉えようとしている。
2	2	You Can Do It! 3 動画で学校の魅力を紹介しよう	学校行事の紹介を作り、発表する。	①学校紹介のウェブサイトを読んで、自分たちの学校と同じところや違うところを見つけることができる。 ②学校行事の紹介を作り、発表することができる。 ③自分の発表に積極的に取り組んでいる。他の人の発表を聞き取ろうとしている。
	2	Let's Read More My Japanese Lessons	既習の言語材料を用いて読む。	①レポートを読んで、おおまかな内容を捉えることができる。 ②レポートを読み、おおまかな内容を捉えている。 ③レポートを読み、おおまかな内容を捉えようとしている。

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観 点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ○外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用する技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○英語に興味をもち、積極的に読む、書く、聞く、話そうとする姿勢が見られる。 ○自らのコミュニケーションをとる意識と姿勢を身につけている。 ○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評 価 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ○定期考査 1学期 期末考査 2学期 中間考査 期末考査 3学期 学年末考査 ○パフォーマンステスト ○単元テスト ○小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ○定期考査 1学期 期末考査 2学期 中間考査 期末考査 3学期 学年末考査 ○パフォーマンステスト ○単元テスト ○小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ○パフォーマンステスト ○提出物 ○小テスト

学習のアドバイス

<p>(1)授業への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要なものをきちんと揃え、進んで授業に参加する。 ・集中して授業に臨み、先生の話やクラスメイトの意見から学ぼうとする。 ・自身の学習に関する能力をしっかりと把握し、伸ばすために努力をする。 <p>(2)提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に学習を進め、内容を推敲した上で期限を守って提出する。 <p>(3)単元ごとのふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題を把握し、足りない箇所の理解を進める。 ・学習した基本の文法事項を理解し、応用できるようになるまでワークなどを用いて何度も繰り返す。 ・教科書の本文に関して、音読しながら内容を理解できるようになるまで何度も読み込む。

令和8年度 第1学年 音楽科 年間指導・評価計画（年間45時間）

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わり、音楽の多様性について理解する。 ・音楽表現するのに必要な、歌唱、器楽創作の技能を身につける。 ・音楽表現を創意工夫することや、自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かにしていく態度を養う。
----	---

評価の観点:①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	題材名	題材のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4 ~ 5	4	思いを込めて合唱しよう 「校歌」 「その先へ」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして歌う。	③ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。(授業観察)
	2	曲の構成を感じ取って歌唱表現を工夫しよう 「主人は冷たい土の中に」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして歌う。	② 旋律・形式・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。(ワークシート・定期考査)
	2	音楽の特徴に注目しながら情景を思い浮かべよう 「春」	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考え、音楽のよさ、美しさを味わう、	② 音色・旋律・形式・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、その関わりについて考えるとともに曲の美しさを味わって聴いている。(ワークシート・定期考査)
6 ◆	3	イメージと音楽との関わりを感じ取ろう 「ジョーズのテーマ」「指揮をしてみよう」	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考え、音楽のよさ、美しさを味わう。	② 音色・旋律・形式・構成・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、その関わりについて考えるとともに曲の美しさを味わって聞いている。(ワークシート・授業観察)
	4	曲想やパートの役割を感じ取って歌唱表現を創意工夫して歌おう 「夢の世界を」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして歌う。	① 全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技術を身につけ、歌唱で表している。(定期考査)
7 ~ 9	2	日本の歌のよさや、美しさを感じ取って歌唱表現を工夫しよう 「浜辺の歌」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。	② リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか意図を持っている。(ワークシート・定期考査)
	7	曲の構成や曲想の変化を生かして歌唱表現を工夫しよう 「合唱コンクールの合唱曲」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。	① 創意工夫をいかした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などを身につけて歌唱で表現している。(実技テスト) ② リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか思いや意図を持っている。(ワークシート・授業観察・定期考査) ③ 音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。(授業観察)
10 ~ 12 ◆	2	曲想と音楽の構造との関わりを理解してその魅力を味わおう 「魔王」	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考え、音楽のよさ、美しさを味わう。	② 音色・旋律・形式・構成・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、その関わりについて考えるとともに曲の美しさを味わって聴いている。(ワークシート・授業観察・定期考査)
	2	日本の歌のよさや、美しさを感じ取って歌唱表現を工夫しよう 「赤とんぼ」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。	② リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか意図を持っている。(ワークシート・定期考査)
	6	音のつながり方の特徴を生かして創作表現をしよう 「リズムゲーム」「リズムアンサンブル」「リズムチャレンジ」	音のつながり方の特徴について理解し、それを生かした創作表現をする。	① 音のつながり方の特徴について理解している。(ワークシート) ① 簡単なリズムの読譜、記譜、創作ができる。(ワークシート)

		「MyMelody」		
1	6	箏曲の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう 「さくらさくら」「六段の調べ」	楽器の音色や響き奏法の関わりを理解し、それを生かした器楽表現を行う。	① 基本的な箏の奏法を身につけて演奏することができる。 (実技テスト) ② 音色・旋律・速度・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、その関わりについて考えるとともに曲の美しさを味わって聴いている。 (ワークシート・授業観察・定期考査)
2 ◆	2	日本に古くから伝わる合奏に親しみその魅力を味わおう 「平調越天楽」	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解するとともに、曲に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考えて音楽のよさや美しさを味わって聴く。	① 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解している。(定期考査) ② 音色・旋律・速度・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、その関わりについて考えるとともに曲の美しさを味わって聴いている。 (ワークシート・授業観察) ③ 曲想と音楽の関わり、特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、取り組んでいる。(授業観察)
3	3	日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう 鑑賞「日本の民謡」「アジアの諸民俗の音楽」 歌唱「ソーラン節」★	人々の暮らしの中から生まれた日本の民謡を聴き、声や音楽の特徴を生かして歌う。 アジアの音楽を聴き、音楽表現の共通性や、固有性について自分なりに考え、音楽のよさ、美しさを味わって聴く。	① 曲想と音楽の関わり、特徴とその背景となる文化や歴史、我が国の伝統音楽、アジアの諸民族の音楽の特徴と多様性に関心を持ち、音楽活動に取り組んでいる。(ワークシート)

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・曲想と音楽を形作っている要素についての関わりを理解している。 ・歌唱・器楽・創作表現をするために必要な技能を身につけている。	・音楽を形作っている要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ、知覚したこととの関わりについて考え、どの様に表現するか思いや意図を持っている。また、曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・曲想と音楽を形作る要素との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。
評 価 の 方 法	・実技テスト ・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・実技テスト ・定期考査	・授業観察 ・提出物 ・定期考査

学習のアドバイス

- (1)授業への取組 いつでも積極的に取り組みましょう。忘れ物がないようにしましょう。
- (2)提出物 指定された期限に必ず出しましょう。丁寧に記入しましょう。
- (3)ふりかえり 定期テストの前には必ず復習をしましょう。音楽の表現に関する言葉、記号、その意味についてはしっかり覚えましょう。

令和8年度 第1学年 美術科 年間指導・評価計画(年間 45 時間)

目 標	・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てる。 ・感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
-----	---

評価の観点:①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	【領域】 単元名	単元のねらい 【教材】	評価規準 (評価方法)
4	1	ガイダンス	授業で用いる教材や年間の授業計画を確認し、1年間の活動の見通しをもつ。	
	3	【表現/デザイン】 レタリング ～文字のデザイン～ 資料 P.10「文字をデザインする」	デザインされた字体の特徴や美しさを理解し、材料や用具の扱いを工夫しながら自身の名前をレタリングをして、美しい文字を表現する。 【教材】A4 ケント紙、油性ペン、レタリングの資料など	① 字体の特徴を理解し、定規や描画材料の扱いを工夫しながら、美しく文字を表現している。(作品・定期考査) ③ デザインされた文字について関心をもち、意欲的に表現しようとしている。(授業の様子、提出状況)
	3	【表現/デザイン】 色の仕組み ～三原色でつくる色相環～ 資料 P.30～31「色の特徴」	色彩と混色の法則性について理解し、絵具や筆などの用具の扱いを工夫しながら、色相環に当てはまる色彩を表現する。 【教材】ポスターカラー、A4 ケント紙など	① 色彩の仕組みを理解し、絵具や筆の扱い方を工夫しながら、色相環を表現している。(作品・定期考査) ③ 色彩の仕組みについて関心をもち、意欲的に表現に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)
5	1	【鑑賞/絵画】 色彩が表すイメージ ～モネの色彩～ ★文化	モネの「ルーアン大聖堂」、「積み藁」の作品群を題材に「色彩が表すイメージ」に焦点を当てて鑑賞し、見方や感じ方を広げ、作品の良さや美しさを味わう。 【教材】「ルーアン大聖堂」、「積み藁」など	① 色彩が表すイメージを感じ取り、自分なりの思いや考えをもって味わっている。(ワークシート) ③ 色彩が表すイメージに関心をもち、主体的に感じ取ろうとしている。(授業の様子、提出状況)
	8	【表現/デザイン】 絵文字 ～文字で楽しく伝える～ 資料 P.10「文字をデザインする」	色彩によって暖かさや冷たさなどのイメージが表現できることを理解するとともに、「文字(任意の漢字1字)」をテーマに、文字のもつ意味からイメージを膨らませ、形や色彩の効果を生かして表現の構想を練り、創意工夫して「絵文字」の作品を表現する。 【教材】色鉛筆、アクリルガッシュなど	① 色彩や形が表すイメージを理解し、絵具や筆などの扱いを工夫しながら、絵文字を表現している。(作品・定期考査) ② 文字の意味からイメージを膨らませて主題を生み出し、色彩や形の効果を考え、作品の構想を練っている。(作品・定期考査) ③ 色彩や形の効果によって文字のイメージを表現する活動に関心をもち、意欲的に活動に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)
◆	1	1学期期末考査(6月)		
7	2	【表現/デザイン】 明るい選挙ポスター ～視覚で伝えるデザイン～ 資料 P.32～33「色の効果と配色」 ※夏休み課題 ☆公共性	ポスターの表現活動をとおして、作品の目的や他者に伝えたいことを基に作品の構想を練り、材料や用具の扱いを工夫して表現する。 【材料】四切ケント紙、アクリルガッシュなど	① 制作手順や画面構成について理解し、文字の描き方や絵具の塗り方を工夫して作品を表現している。(作品・定期考査) ② 目的や見る人の気持ちを基に主題を生み出し、色彩や形の効果を生かして、作品の構想を練っている。(作品・定期考査) ③ 目的や伝えたいことを基に表現する活動に関心をもち、意欲的に表現に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)
	10	10	【表現/工芸】 木のスプーン ～目的をもった形の表現～ 教科書1 P.62～63 「木と親しむ暮らし」 資料 P.18「木でつくる」	スプーンの使用や機能、木材の特徴などを基に、目的に応じた形の構想を練り、木材や道具の扱いを工夫して表現する。 【材料】木材、植物油、小刀、彫刻刀など
◆	1	2学期期末考査(11月)		
12	2	【表現/絵画】 球体のデッサン ～明暗と立体感の表現～ 資料 P.4「鉛筆で描く」	明暗と立体感の関係について理解するとともに、モチーフの光や影を感じ取って、鉛筆の明暗の効果を考えながら作品の構想を練り、創意工夫しながらデッサンを表現する。 【教材】A4 ケント紙、鉛筆、練り消しゴムなど	① 明暗の表し方を身に付け、工夫して立体感を表現している。(作品・定期考査) ② 明暗をテーマに主題を生み出し、主題を基に表現の構想を練っている。(作品・定期考査) ③ 立体感の表現や、鉛筆による明暗の表現に関心をもち、意欲的に活動に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)

1	5	<p>【表現/絵画】 水彩スケッチ ～見つめ感じ取り描く～</p> <p>教科書 1 P.16～17 「見つめ感じ取り描く」</p>	<p>身近なものをテーマに、その色や形、光、質感などの特徴を感じ取り、用具の扱い方を工夫して表現する。</p> <p>【教材】A4 画用紙、絵具など</p>	<p>① 用具の扱いを身に付け、創意工夫して対象の特徴を表現している。(作品・定期考査)</p> <p>② 身近なものをテーマに主題を生み出し、表現の構想を練っている。(作品)</p> <p>③ 対象を観察して表現する活動に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 (授業の様子、提出状況)</p>
	1	<p>【鑑賞/絵画】 日本と西洋の遠近感 ～北斎とターナー～</p> <p>★文化</p>	<p>日本と西洋の絵画作品を鑑賞し、それぞれの遠近感の表現について理解するとともに、その表現の効果やよさを味わう。</p> <p>【教材】「富嶽三十六景」「戦艦テメルール号」など</p>	<p>① 日本と西洋の作品の代表的な作品と、表現の特徴の違いについて理解している。(定期考査)</p> <p>② 日本と西洋の表現の違いについて考えながら、それぞれの表現の効果やよさを自分なりに味わっている。(ワークシート・定期考査)</p> <p>③ 絵画表現の鑑賞に関心を持ち、意欲的に活動に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)</p>
2	2	<p>【表現/絵画】 遠近感のある風景 ～草原の中のリンゴ～</p> <p>資料 P.4「遠近感」</p>	<p>課題文からイメージを膨らませて、遠近感やものの質感など、表現の構想を練り、創意工夫して風景のイラストを表現する。</p> <p>【教材】色鉛筆、A4 ケント紙など</p>	<p>① 遠近感や質感の表し方を身に付け、意図に応じて材料の扱いを工夫しながら表現している。 (作品・定期考査)</p> <p>② 課題文からイメージを膨らませ、表現の構想を練り、工夫して表現しようとしている。 (作品・定期考査)</p> <p>③ 遠近感の表現に関心を持ち、意欲的に表現に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)</p>
	1	3学期期末考査(2月)		
3	4	<p>【表現/絵画・彫刻】 人物の動勢 ～鉛筆と粘土のクロッキー～</p> <p>教科書 1 P.22～23 「その人らしさを捉える」</p>	<p>人物をモチーフに、その動勢を捉え主題を生み出し、それを基に形や色彩の効果を生かして構想を練り、創意工夫して表現する。</p> <p>【教材】鉛筆、練消しゴム、シルククレイなど</p>	<p>① 動勢の表し方について理解し、表現したいイメージをもちながら用具の扱い方を考え、創意工夫して表現している。(作品)</p> <p>② 人物の動勢をテーマに主題を生み出し、心豊かに表現の構想を練っている。(作品)</p> <p>③ 人物の動勢の表現に関心を持ち、意欲的に活動に取り組んでいる。(授業の様子)</p>
	◆	◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育		

評価計画(各観点の評価方法)

観点	①知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	<p>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。</p> <p>・意図に応じて表現方法を工夫して表している。</p>	<p>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<p>・作品</p> <p>・道具の使い方</p> <p>・制作過程、授業の様子</p> <p>・定期考査</p>	<p>・作品</p> <p>・制作過程、授業の様子</p> <p>・ワークシート</p> <p>・制作ノート</p> <p>・定期考査</p>	<p>・作品等の提出状況</p> <p>・授業の様子</p> <p>・準備、持ち物</p> <p>・制作ノート</p>

学習のアドバイス

<p>【 授業への取組 】</p> <p>① 作品や用具などの準備を素早く行おう。忘れ物には注意しよう。</p> <p>② 活動中に無用な私語をせず、集中して取り組もう。</p> <p>③ 作品や用具などの片付けを素早くし、その日の活動を振り返ろう。</p> <p>④ 必要に応じて表現のための資料を家庭等で準備しよう。</p> <p>⑤ 表現活動のペースを調整し、適切な進度を保とう。(ペースが遅ければ家庭等で進め、早ければ工夫できる点を探そう。)</p> <p>⑥ 提出物は、期限を守って提出しよう。</p> <p>【テスト勉強】</p> <p>① 授業中に配布されたプリントをしっかりと確認しよう。</p> <p>② 練習問題に取り組み、自分の理解度を確認しよう。分からないところはプリントで確認しよう。</p>

令和8年度 第1学年 保健体育科 年間指導・評価計画(年間105時間)

目標	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。
----	--

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 ◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックバリンピック教育 ☆人権教育

月	時間	【領域】 単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4 5	7	【体づくり運動】 体ほぐしの運動 体力を高める運動 ◇★★	・体ほぐしの運動では、①心と体の関係に気付く。②体の調子を整える。③仲間と交流するための運動を行うことで体を動かす楽しさや心地よさを味わう。体力を高める運動では、目的に適した運動を身につけ、組み合わせることができるようにする。	① 体づくり運動の意義と行い方、運動の計画の立て方などを理解している。 ② ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き動きを持続するための運動を組み合わせるとともに、学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③ 体づくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、健康安全に留意して学習に積極的に取り組もうとしている。
5	7	【陸上競技】 短距離走・リレー ◇★★	・クラウチングスタートの身体の適切な使い方を復習して自身のやりやすい方法を工夫する。 ・スタンディングスタートとの違いや、加速の重要性を理解し、実践する。 ・自己の最大スピードを高めたり、バトンの受渡してタイミングを合わせたりして、個人やチームのタイムを短縮したり、競争したりできるようにする。	① 陸上競技の特性に応じた基本的な動きや効率のよい動きを身に付けている。 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力を理解している。 ② 陸上競技を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③ 陸上競技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすることや健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
6	8	【球技】 「ゴール型」 アルティメット ★	・ゴール型の特性、個人的技能、戦術等について、理解する。 ・互いに協力し、公正な態度で安全に運動することができるようにする。基本的な技能を身に付け、集団で協力しながら(勝敗を競い合い、ゲームを進めていくことができるようにする。	① 球技の特性に応じて、ゲームを展開するための基本的な技能や仲間と連携した動きを身に付けている。 球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力、試合の行い方を理解している。 ② 球技を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③ 球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
7 9	8	【水泳】 クロール 平泳ぎ ◇★★	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関して高まる体力などを理解するとともに、泳法を身に付ける。 ・オリンピックと水泳の関係について理解する。 ・手と足の動き、呼吸のバランスをとり、速く、長く泳ぐことができるようにする。	① 水泳の特性に応じた基本的な動きや効率のよい動きを身に付けている。 水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力を理解している ② 水泳を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③ 水泳の楽しさや喜びを味わうことができるよう、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
9 10	6	【器械運動】 マット運動 ★★	・器械体操の歴史や種目について、オリンピックとの関係について理解する。 ・技を滑らかにを行うことをねらいとし、自己の努力や工夫によって課題解決に取り組み、達成した喜びを味わうことができるようにする。	① 器械運動の特性に応じた技を身に付けている。 器械運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力を理解している。 ② 器械運動を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③ 器械運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、よい演技を認めようとする、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。

10 11	6	【球技】 「ネット型」 バレーボール ◇☆☆	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で習得した技能を用いながら、(ゲームにおいて)ラリーを続ける楽しさや喜びを味わうことができる。 ・オリンピックとバレーボールの関係について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 球技の特性に応じて、ゲームを展開するための基本的な技能や仲間と連携した動きを身に付けている。球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力、試合の行い方を理解している。 ② 球技を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③ 球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
10 11 ◆ 12	12	【ダンス】 創作ダンス ☆	<ul style="list-style-type: none"> ・変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊る。 	<ul style="list-style-type: none"> ① ダンスの特性に応じて、交流ができるよう、イメージをとらえた表現や踊りをするための動きを身に付けている。ダンスの特性や踊りの由来と表現の仕方、関連して高まる体力、試合の行い方を理解している。 ② ダンスを豊かに実践するための課題に応じた取り組み方を工夫している。 ③ ダンスの楽しさや喜びを味わうことができるよう、よさを認め合おうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
12 1	7	【武道】 柔道 ◇☆☆	<ul style="list-style-type: none"> ・礼儀作法や相手を尊重する態度を重視するとともに基本動作と基本的な技能を身に付け、自己の能力に応じた練習(や試合)を楽しむことができるようにする。 ・柔道とオリンピックの関係について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 武道の特性に応じて、攻防を展開するための基本動作や基本的な技を身に付けている。武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技術の名称や行い方、関連して高まる体力、試合の行い方を理解している。 ② 武道を豊かに実践するための学習課題に応じた取り組み方を工夫している。 ③ 武道の楽しさや喜びを味わうことができるよう、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることや、禁じ技を用いないなど健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
2 ◆	7	【陸上競技】 長距離走 ☆☆	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階において中学生期に最も発達する心肺機能の向上をねらいとして、1000m や 1500m を何分で走れるか、自己の課題に向けて努力をし、達成できた喜びや励まし合うことの大切さなどを身に付けていくことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 陸上競技の特性に応じた基本的な動きや効率のよい動きを身に付けている。陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力を理解している。 ② 陸上競技を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③ 陸上競技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすることや健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
2 3	8	【球技】 「ベースボール型」 ソフトボール ☆☆	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボールの特性や歴史について理解する。 ・オリンピックとソフトボールとの関係について理解する。 ・基本的な技能を学び、集団で協力しながら勝敗を競い合い、(ゲームを)進めていくことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 球技の特性に応じて、ゲームを展開するための基本的な技能や仲間と連携した動きを身に付けている。球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力、試合の行い方を理解している。 ② 球技を豊かに実践するための学習課題に応じた取り組み方を工夫している。 ③ 球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。

2. 学習計画(保健・体育理論)

通 年	16	<p>・健康な生活と病気の予防</p> <p>・心身の発達と心の健康</p> <p style="text-align: center;">◇☆☆</p>	<p>・健康の保持増進には年齢、生活習慣等に応じた食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることを理解する。</p> <p>・健康の保持増進を図るための基礎として、心身の機能は生活経験などの影響を受けながら年齢とともに発達することを理解できるようにする。</p>	<p>① ・健康の成り立ちと疾病の発生要因、について課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりを理解している。</p> <p>・身体機能の発達や精神機能の発達、欲求と心の健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりを理解している。</p> <p>② ・健康な生活と疾病の予防について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表している。</p> <p>・心身の発達と心の健康について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表している。</p> <p>③ ・健康な生活と疾病の予防について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>・心身の発達と心の健康について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p>
	3	<p>【体育理論】</p> <p>運動やスポーツの多様性</p> <p style="text-align: center;">☆☆</p>	<p>・運動やスポーツには、する、みる、支えるなどの多様なかかわり方があり、技術や戦術、表現などをたかめられるようになることを学習する。</p> <p>・運動やスポーツを行うことは、心身の発達や社会性を高める効果があり、その際に、健康、安全に留意することを学習する。</p>	<p>① 運動やスポーツが多様であることについて理解している。</p> <p>② 運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>③ 文運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組む網としている。</p>

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法および運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。	運動や豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
評 価 の 方 法	<p>・授業観察(技能・発言等)</p> <p>・提出物の内容</p> <p>・学習カード</p> <p>・実技試験</p> <p>・定期考査</p>	<p>・授業観察(動き・発言等)</p> <p>・提出物の内容</p> <p>・学習カード</p> <p>・実技試験</p> <p>・定期考査</p>	<p>・授業観察(発言等)</p> <p>・提出物の状況・内容</p> <p>・学習カード</p>

学習のアドバイス

(1)授業への取組

[体育分野]

○授業への実質的参加を第一に考えましょう。

・健康管理に細心の注意をし、欠席、見学をしなくてもよいようにしましょう。

(見学の場合は、生徒手帳に保護者のサインをもらってこよう。)

○安全への配慮をしましょう。

・指定された体育着、体育館シューズを正しく身につけましょう(爪も短くしておいてください)。

・準備や片づけなど、場の安全を確認してから行動しましょう。

○課題意識をしっかりと持ちましょう。

・何を目的として行っているのか、どうしたらうまく表現できるのか、意識して考えながら取り組みましょう。

・教えあう仲間を大切にし、互いに学びあう関係を築きましょう。

・学習カードを活用し、学びの振り返りをしましょう。

[保健分野]

○課題意識をしっかりと持ちましょう。

・健康を巡る諸問題を学びます。プリントまたはワークを活用し、学んだ内容を整理しておきましょう。

・ともに考える仲間を大切にし、互いに学びあう関係を築きましょう。

(2)提出物

・保健学習ノート ・学習カード ・タブレットでの提出物 ・その他指示があったもの

(3)単元ごとの振り返り(定期考査)

○授業で学んだことが出題の範囲となります。

・体育分野については、授業で行った内容を整理しましょう。また資料集で体の動きや種目のルールを確認しましょう。

・保健分野については、授業で使用したプリントやスライド、教科書の内容、領域によっては実習の手順を確認しましょう。

令和8年度 第1学年 技術・家庭科(技術分野) 年間指導・評価計画(年間35時間)

目 標	<p>◎生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。</p> <p>◎ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。</p>
-----	---

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	【領域】 題材名	題材のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
	1	ガイダンス	○技術分野の学習内容や学習の進め方についての見通し	③技術分野の学習内容に関心をもっている。
4	10	C 生物育成 の技術	<p>○生活や社会と生物育成の技術 ・生活や社会を支える生物育成の技術 ・身の回りにある生物育成の技術</p> <p>○さまざまな生物育成の技術 ・作物の栽培技術 ・動物の飼育技術 ・水産生物の栽培技術 ・森林の育成技術</p> <p>○生物育成の技術による問題解決 ・問題解決の流れ ・生物育成の計画の立て方</p> <p>○これからの生物育成の技術 ・生物育成の技術の学習を振り返ろう ・生物育成の技術と私たちの未来</p>	<p>①作物、動物及び水産生物の成長、生態などについての科学的な原理・法則を説明できる。</p> <p>①生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを説明できる。</p> <p>③進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。</p> <p>②生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、生物育成の技術が最適化されてきたことに気付くことができる</p> <p>②生物育成の技術が地域の自然環境に及ぼす影響に関わる問題を見い出して課題を設定できる。</p> <p>③自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。</p> <p>①育成計画に沿い、観察や検査の結果を踏まえ、安全・適切に育成環境の調節や、作物の管理・収穫ができる。※発芽率など種子自身の能力によるものに関する評価は行わない。</p> <p>②育成計画に基づき、記録したデータと作物の生育状況と比べながら、合理的な解決作業を決定できる。</p> <p>③自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。</p> <p>②自らの問題解決の工夫を、生物育成の技術の見方・考え方に照らして整理するとともに、課題の解決結果を記録したデータに基づいて評価する。</p> <p>①これまでの学習を踏まえ、生物育成の技術の役割や影響、最適化について説明できる。</p>
7	17	B エネルギー 変換の 技術	<p>○生活や社会とエネルギー変換の技術 ・生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 ・身の回りにあるエネルギー変換の技術</p> <p>○エネルギー資源の利用 ・エネルギーの利用 ・燃料を利用した技術 ・発電と送電のしくみ ・エネルギー変換効率と省エネルギー</p> <p>○電気の利用 ・電気エネルギーの特徴 ・光や熱に変換する仕組み ・電気回路と回路図 ・電気機器の安全な利用 ・電気機器の保守点検</p> <p>○運動の利用 ・力の伝達 ・動きを変化させる仕組み ・力や運動を保存する仕組み ・部品の固定と共通部品 ・機械の保守点検</p> <p>○これからのエネルギー変換の技術 ・エネルギー変換の技術を振り返ろう ・エネルギー変換の技術と私たちの未来</p>	<p>②防災用品に込められたエネルギー変換の技術に関する工夫を読み取り、エネルギー変換の技術の見方・考え方に気付くことができる。</p> <p>③進んでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。</p> <p>①自然界にあるエネルギー源が変換され利用されることや、熱機関の仕組みを説明できる。</p> <p>①自然界にあるエネルギー源から電気エネルギーへの変換方法と安定した電力供給の仕組みを説明できる。</p> <p>①算出した変換効率に基づき、エネルギー変換、効率及び損失の意味や省エネルギーの重要性を説明できる。</p> <p>②発電システムは、エネルギー変換効率だけでなく、稼働率やコスト、環境負荷等にも配慮して設計されていることに気付くことができる。</p> <p>①電源の種類とそれぞれの特徴を、電気の特性等の原理・法則に基づき説明することができる。</p> <p>①電気エネルギーを、光や熱、動力、音、信号に変換する仕組みを説明することができる。</p> <p>①電気回路を回路図を使って表すことができる、電気回路の特性や電流の流れを制御する仕組みについて説明することができる。</p> <p>①電気機器の定格に基づき、安全に利用するための仕組みを説明することができる。</p> <p>①工具などを適切に用いて、電気機器の保守点検を行うことができる。</p> <p>①動力を伝えるための仕組みとそれらの特徴を説明することができる。</p> <p>①運動を変化させる技術の仕組みや、力や運動を保存し利用する技術の仕組みについて説明することができる。</p> <p>②開発者が、製品等の目的に合わせて、機構の要素や構成を変更していることに気付くことができる。</p> <p>①機械部品を固定する方法や、共通部品の規格について説明することができる。</p> <p>①機械を適切に保守点検することができる。</p> <p>①エネルギー変換の技術を利用することで実現される持続可能な社会を説明することができる。</p> <p>②持続可能な社会を実現するために、エネルギー変換の技術を評価し、適切な管理・運用の仕方や改良の方向性について考えることができる。</p> <p>③持続可能な社会の実現に向けて、今あるエネルギー変換の技術を工夫して活用したり、新たなエネルギー変換の技術を創造したり使用している。</p>
	毎時間	D 情報の技術	○タイピング	①現在の自身のレベルを意識し、一つ上のレベルに到達できるよう向上心をもって自己研鑽に励んでいる。

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	【生活や技術についての知識・技能】 生活や社会で利用されている技術についての基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	【生活を工夫し創造する能力】 生活や社会における技術に関わる問題を見出して課題を設定し、その解決を目指して、技術を評価、選択、管理・運用、改良、応用している。	【主体的に実践する態度】 進んで技術と関わろうとするとともに、主体的に技術に関する知識・技能を身に付け、よりよい生活や持続可能な社会を構築するために適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしている。
評 価 の 方 法	【下記の評価資料にて評価を行う】 ○課題およびレポート ○ハンドノート ○作業状況や作品 ○タイピング ○定期考査	【下記の評価資料にて評価を行う】 ○課題およびレポート ○ハンドノート ○作業状況や作品 ○定期考査	【下記の評価資料にて評価を行う】 ○課題およびレポート ○ハンドノート ○作業状況や作品 ○定期考査

学習のアドバイス

- (1) 授業への取組・・・授業では要点となることを主軸に、課題などの進め方のコツなどを話します。授業の内容を理解し、家庭学習や作業などを能動的にすすめる態度が好ましいです。生徒一人一人が、能動的に取り組めるかがポイントです。また、それは課題を進める上で作業効率に影響し完成の精度に影響します。要点を押さえ、問題を解決していきましょう。
- (2) 提出物や作品・・・提出物や作品は計画をもって積極的に取り組み、期限を守りましょう。また、提出物や作品を作成している際に不明なことや不確かなことが生じた場合は、その都度自ら動き問題を解決していきましょう。
- (3) ふりかえり・・・提出物や作品、定期考査などで、学習状況を自分で振り返られるよう技術の授業に精力的に取り組みましょう。

<p>7 9 10 11 ◆ 12 1</p>	<p>16</p>	<p>B 衣食住の生活(衣生活) 3、布を用いた作品で生活を演出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・布を用いた作品を作ることができる。 ・製作に必要な道具の適切な取扱いができる。 ・まつり縫い、スナップつけなどの技法を習得することができる ・製作を通して、物を作る楽しさを習得することができる。 ・製作を振り返り、製作計画・記録をまとめる。 ・これからの衣生活の中で、不用となった衣服等の再利用について、新たな課題をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①計画立てて製作することができる。 ①製作に必要な道具の取り扱いを理解することができる。 ①まつり縫い、スナップつけなどの技法を習得している。 ①製作の記録をまとめることができる。 ②自分の好みを製作に反映し、工夫している。 ③計画を調整して作品を製作し、これからの衣生活に向けて主体的に取り組もうとしている。 ①製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切に製作することができる。 ②生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見出して課題を設定している。
<p>1 2 ◆ 3</p>	<p>8</p>	<p>C 消費生活・環境 1、家庭生活と消費 2、購入・支払いと生活情報 3、消費者被害と消費者の自立 4、持続可能な社会にむけて ◇☆☆</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物資とサービスの特徴がわかる。 ・消費生活の仕組みがわかる。 ・収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理をする必要があることがわかる。 ・店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。 ・即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。 ・生活情報の収集や活用のしかたを理解し、目的に合った商品を選ぶことができる。 ・購入を通して消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する。 ・消費者の行動としてのフェアトレードについて各自ができることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ②物資・サービスの選択と購入について問題を見出して課題を設定している。 ①購入方法や支払い方法の特徴について理解している。 ③金銭の管理と購入について、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ①暮らしにかかわるマークとその見方について理解している。 ①人や環境を意識した消費生活について理解している。 ②人や環境を意識した消費生活について考えをまとめている。 ③人や環境を意識した消費生活について、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
<p>観 点 の 趣 旨</p>	<p>家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。</p>	<p>これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、思考したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
<p>評 価 の 方 法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート ・定期考査 ・作品やレポート ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート ・定期考査 ・作品やレポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート ・定期考査 ・作品やレポート

学習のアドバイス

- (1)授業への取組 タブレットPCを活用した授業が多くなります。話を聞くとときは手を止めるなど、緩急をしっかりつけましょう。
- (2)提出物 提出物は期限を守る習慣をつけましょう。また、提出物の書き方に気をつけると、よいまとめになります。
- (3)題材ごとのふりかえり 定期テストの前にはワークシートやレポートの振り返りをしておきましょう。記述の練習も必要です。